

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587018101	科目番号 / Subject code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境問題を考える (環境と社会運動)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 保坂 稔		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育、経済、薬学、水産、1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室、環427保坂教員室		
担当教員TEL/Tel	戸田095-819-2726 保坂095-819-2728		
担当教員オフィスアワー / Office hours	戸田金曜16-17時 保坂木曜9時30分-10時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。全学モジュール科目「人間と環境」の選択科目		
授業到達目標 / Goal	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書、プリント、映像などを用いて授業を行う。口頭や質問感想用紙での積極的な質問や発言を期待したい。		
授業内容 / Class outline / Con	前半の7回(保坂)は環境問題の分析について環境社会学的な見方を深める。後半の7回(戸田)は具体的な事例を通じて環境社会学を学ぶ。15回目はまとめ。16回目は定期試験。		
キーワード / Key word	公共圏、リスク社会、社会的ジレンマ、オルタナティブ運動、水俣病、カネミ油症、原発事故、受益圏と受苦圏		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、保坂稔『緑の党政権の誕生』(晃洋書房2013年)。参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験80%、レポート20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	受講要件は特にない。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ / Message for students	教科書を通読すること。講義内容を図書館利用やインターネットで深めてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	社会運動分析 環境社会学への誘い		
第2回	社会運動論 緑の党		
第3回	エコファシズム		
第4回	宗教への視点		
第5回	環境運動と地域：フレーム分析		
第6回	公共圏		
第7回	環境運動と政治意識		
第8回	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか		
第9回	水俣病その2		
第10回	カネミ油症 40年かかってわずかな前進		
第11回	原発事故と原発被曝労働		
第12回	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊		
第13回	農業問題 特にネオニコチノイド		
第14回	遺伝子組み換え作物		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587018501	科目番号 / Subject code	05870185
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境問題を考える (環境問題の歴史から学ぶ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	保坂 稔		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	保坂 稔		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	保坂 稔, 宮西 隆幸, 太田 貴大, 関 陽子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保坂稔		
担当教員TEL/Tel	819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日9:30 ~ 10:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	一般に環境問題は80年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これにともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、環境保護を訴える立場を模索することとする。		
授業到達目標/Goal	80年代以前の環境問題の歴史について説明できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式でおこなう。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境破壊、環境響因子、公害		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。資料は必要に応じて配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各講義ごとのレポートによる評価		
学生へのメッセージ/Message for students	地球環境問題以外にも環境問題があることを意識して、授業に臨んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(80年代以前の環境問題の歴史)		
第2回	絶滅危惧種の問題: 密猟、違法輸出入、乱獲		
第3回	森林伐採の問題		
第4回	水環境汚染の問題: 農薬、富栄養化、工業排水、産廃		
第5回	大気汚染の問題: オゾン層破壊、排ガス、工場		
第6回	生体に与える環境響因子について		
第7回	大気と温度と水の問題		
第8回	無機イオンと内分泌攪乱物質について		
第9回	環境的因子における生物学的インパクト		
第10回	生態に与える環境響因子の具体例		
第11回	環境破壊の論理 人間にとって自然とは何か		
第12回	高度経済成長期 近代システムと人間の生活		
第13回	捕鯨問題を考える(1) 文化と自然		
第14回	捕鯨問題を考える(2) いのちの意味		
第15回	公害の構造 "弱者"からの環境問題		
第16回	レポート作成と評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587018901	科目番号 / Subject code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境問題を考える (地域の環境を考える)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 修		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 修		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 修		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu.nakamura@nifty.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	中村(環407)		
担当教員TEL/Tel	819-2727		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜1, 2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	多様な地域の環境には、様々な可能性があります。過度な経済効率性の追求や、いわゆる都市部からの視点からではなく、地域がもつ固有性に注目した持続可能な地域社会のあり方について考えます。		
授業到達目標/Goal	従来は、都市の発展を中心に経済、暮らしのあり方が考えられ建設されてきました。しかし、現在の環境問題、雇用の問題などから、地域から、生活から、人々の生き方からの視点での議論が求められています。そうした「視点」を循環型社会などの具体的事例をとおして獲得することを、この講義の目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	この講義では、自分の頭で考え、発言する。他の学生の意見を聞いて、それについて考え、反論する。受け入れる。という作業を求めます。一方的に聞くだけの講義ではなかなか身につかない「考える力」「議論する力」「受け入れる力」の獲得も目指します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	地域、循環		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	成功する生ごみ資源化(農文協)2011		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート50%、報告50%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	循環型社会を考える 1 福岡県大木町の循環の取り組みの紹介		
第2回	循環型社会を考える 2 「循環」とは何かを様々な視点で考える 生態学的視点 山の上は、なぜ木が生長するのか リービッヒの循環論		
第3回	循環型社会を考える 3 「循環」とは何かを様々な視点で考える 生態学的視点と経済 人口ボーナスと人口オナーズ		
第4回	循環型社会を考える 4 地域の循環の取組 福岡県築上町、熊本県山鹿市		
第5回	循環型社会を考える 5 地域の循環の取組 失敗から学ぶ 京都府南丹市、大分県日田市		
第6回	循環型社会を考える 6 タイの生ごみ資源化 アジアの人々の要望		

第7回	地域に循環を作り出す 1 科学者と技術者に気をつけよう1 水俣病と大学の研究者
第8回	地域に循環を作り出す 2 科学者と技術者に気をつけよう2 労働者としての科学者
第9回	地域に循環を作り出す 3 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる
第10回	地域に循環を作り出す 4 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる
第11回	地域に循環を作り出す 5 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる
第12回	地域に循環を作り出す 6 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる 地域で循環する通貨について
第13回	地域に循環を作り出す 7 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる 地域で循環する通貨について
第14回	地域に循環を作り出す 8 地域の循環ビジネス、環境ビジネス 循環は経済がつくる ローカルな哲学を作る ローカルな哲学は、ローカルな循環経済がつくる
第15回	学生による報告
第16回	予備

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587019301	科目番号 / Subject code	05870193
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境問題を考える (海洋生物の遺伝子多様性)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	和田 実		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	和田 実		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	和田 実, 山口 健一, 菅 向志郎, 井上 徹志		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	miwada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合研究棟 4 階		
担当教員TEL / Tel	819-2825		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリレラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する		
授業到達目標 / Goal	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できるようになる		
授業方法 (学習指導法) / Method	授業の概要及び位置づけ内容の編集 分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリレラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する		
授業内容 / Class outline / Con	本授業はアクティブラーニングを活用し、毎回の授業の前に授業テーマに沿った課題を与え、その自主学習内容を当日に発表してもらう。発表担当者以外は、発表者の講演内容を聞き、その内容とともに、プレゼン技術などもあわせて、評価する。		
キーワード / Key word	海洋生物、多様性、微生物、発酵食品、生理活性物質、遺伝子解析手法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	以下の ~ を総合的に評価する。 各自の発表担当課題のプレゼンテーション実践、 全ての課題に対する自主学習の要約と他者のプレゼンに対するコメント提出 (日誌) , 授業の総括レポート提出。		
学生へのメッセージ / Message for students	本授業では「海洋生物の遺伝子多様性」について「自主的に学ぶための指針」を提供することを心がけています。 具体的には、海洋生物の遺伝子多様性に関わる課題について、「自ら調べた学習内容の発表」と「仲間の発表に対する評価」という2つを実践します。 従来の座学中心ではないため、与えられた課題について事前に予習しておくことがとても大切になります。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	全体説明		
第2回	海洋微生物の遺伝子多様性 1		
第3回	海洋微生物の遺伝子多様性 2		
第4回	海洋微生物の遺伝子多様性 3		
第5回	発酵食品の多様性 1		
第6回	発酵食品の多様性 2		
第7回	発酵食品の多様性 3		
第8回	生理活性物質の多様性 1		
第9回	生理活性物質の多様性 2		
第10回	生理活性物質の多様性 3		
第11回	遺伝子解析手法の多様性 1		
第12回	遺伝子解析手法の多様性 2		

第13回	遺伝子解析手法の多様性 3
第14回	総括 (前半)
第15回	総括 (後半)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587043701	科目番号 / Subject code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境問題を考える (生態系と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀江 哲也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀江 哲也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀江 哲也		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-sugimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	杉村研究室、堀江研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日午前10~12時、木曜日午前10~12時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例などを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることを理解する。また、生態系と社会の関係が現代の環境問題とどのように深く関わっているか、基礎的なことを理解する。		
授業到達目標 / Goal	生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることを理解する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	最初に、森林タイプと森林生態系について一般論として説明した後、日本と世界の森林の地域的な特徴を概観する。次いで、生態系サービスについて個別に説明した後、サービスの持続的活用のための法、社会制度、取り組みなどについて紹介し、環境問題と森林に関連する対策について説明する。		
授業内容 / Class outline / Con	最初に、生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて個別に説明する。その後、社会の方へ力点を置き、持続的な社会を維持するための経済的な仕組み、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明する。		
キーワード / Key word	生態系サービス、多面的機能、環境問題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	資料をLACSに掲載する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内容のまとめノート		
受講要件 (履修条件) / Requirements	とくになし		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	地球規模の気候変動、生物多様性の急激な低下、様々な災害から生活環境の快適性に至るまで、生態系は我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことですが、大事な知識の1頁に加えましょう。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション、環境問題とは何か		
第2回	生態系についてのごく基本的なことを知る		
第3回	生態系の働き：ごく基本的なこと		
第4回	生態系サービスについて		
第5回	生態系サービスと環境問題 (1) 身近な環境		
第6回	生態系サービスと環境問題 (2) 地球気候変動		
第7回	生態系サービスと環境問題 (3) 自然保護と生物多様性		
第8回	生態系の保護と管理：国内各地での取り組み		
第9回	欧米における生態系保全政策 (1)		
第10回	欧米における生態系保全政策 (2)		
第11回	漁業資源の管理 (1)		
第12回	漁業資源の管理 (2)		

第13回	生態系サービスのエネルギー利用（1）風力エネルギー
第14回	生態系サービスのエネルギー利用（2）バイオ燃料
第15回	貿易・旅行の拡大と外来種・感染症の拡散
第16回	定期試験